

「セルフディスカバリー」学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校
教諭 福田亜唯

- 1.日時 平成 25 年 10 月 25 日（金）第 3 限目 2.場所 2 年 4 組教室
- 3.学年 2 年 4 組（22 名）
- 4.生徒観 一人一人の個性は豊かだが、自己表現が苦手な生徒が多く、取り組みの姿勢に差がある集団である。自分自身を振り返り、自己認識を深め、表現する力を養いたい。
- 5.単元 自己表現
- 6.単元目標 グループエンカウンターを活用したコミュニケーション能力向上を目指し、わかりやすく伝える力や相手の話を正確に聴く力を養う。
- 7.本時の目標 高校生活で学んだことについて考え、その考えを深めるとともに進路意識を高めさせる。
- 8.本時の創意工夫（5 観点について①～⑤）
 - ① 本時の流れを伝える。
 - ② 今年の夏に行った中学校訪問をした内容を活用する。
 - ③ 写真を使い思考を促す。
 - ④ 自分の考えを導き出す姿勢を育むとともに、振り返り作業を取り入れ自己認識力を高める。
 - ⑤ 身だしなみを整え、きちんとした挨拶をする。
- 9.本時の展開

	学習内容	学習活動（生徒の活動）	・指導の留意点*支援 （教師の活動）	学習 形態	創意工夫 ①～⑤
導 入	・礼 ・本時の学習内容 について	・本時の学習内容を確認する。	・はじめをつけさせる。 ・服装を確認する。 ・本時の内容を説明する。	一斉	⑤ ①
	有田中央高校での一番の思い出は何ですか？		・ワークシートを配布する。 ※机間巡視、個別指導する。	個人 ペア	④
展 開	・高校生活で学べることはどんなことか ・写真を掲示	・系列授業、部活動、委員会活動、様々な行事があり、その中でどんなことを学んだかを考える。 ・写真を見て自分自身を振り返る。 ・書けた生徒は、より具体的に深める。 ・書けていない生徒は、なぜ書けないのかを考える。	・学校生活の中で、どのようなことが「学べるのか」を説明する。 *机間巡視で記入できているか確認する。 *書けない生徒は文章にまともにならなくても良いので、箇条書きで、自分の経験を出させ考えをまとめさせる。	個人 一斉 個人	④ ③④
	・中学校訪問で使 用したプリントを 活用	・中学校からの成長、変化に気づく。	・中学校訪問で使用したプリントで気付かせる。 なぜ、高校生活で頑張ることが必要なのか。	個人 個人	②④ ④
ま と め	・本時のまとめ ・次回の説明 ・礼	・本時の内容を振り返る。 ・次回の内容を確認する。	・本時の内容を振り返らせる。 ・次回の内容を説明する。	個人 一斉	④ ⑤